

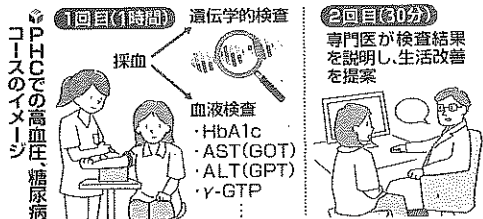
ゲノム解析で発症予測

北海道大学病院は、高齢者の代表的疾患である高血圧や認知症、糖尿病の発症リスクを予測し、適切な治療につなげる「パーソナルヘルスセンター（PHC）」を開設した。生命の基本設計図であるゲノム（遺伝学的情報）解析による予防医療の提供を主眼に置くもので、大学病院では国内初となる。（土田浩平）

病気は環境的要因と遺伝的要因の複合により発症するとされる。PHCでは、患者の膨大なゲノムを解析し、今後なりやすい病気を予測。患者に生活環境や生活習慣の改善を提案し、病気の予防に努めてもらう。4月から一般向けに始めるのが「ウェルネス（心身の健康）プラン」だ。コースは「高血圧」「タイプ2糖尿病（糖尿病）」「認知症」の三つがある。高血圧、糖尿病のコースは、1回目（所要時間約1時間）に採血して血液検査と遺伝学的検査を同時に行い、体成分分析と食事調査票の入力なども実施する。2回目（約30分）は専門医が検査結果を説明し、生活改善を提案する。費用はそ

高血圧、糖尿病、認知症……

れぞれ約3万円だ。認知症コースは、1回目（約3時間）に採血による遺伝学的検査と、磁気共鳴画像（MRI）検査、心理検査などを実施。2回目約30分に専門医の結果説明と生活改善の提案がある。費用は約10万円だ。このほか、来院を1回で済ませる「ベシックコース」がある。こちらは遺伝学的検査と、高精度の体成分分析装置を使った体脂肪量や筋肉量などの測定を行う。オプションで、北大病院栄



生活改善提案 北大病院がセンター開設

養管理部と共同開発したアルツハイマー型認知症の発症リスクを下げると思われる弁当も付く。検査結果は伝えられるが、相談サービスはない。費用は約2万円だ。また2月中旬からは、先行して「エグゼクティブプラン」を始める。現在のゲノム解析で可能な、生まれつきがんになりやすい「遺伝性がん」の発症を予測する。約60万円の費用がかかるが、ゲノムを詳細に調べることによって発症前に対処できるようにになる。海外では米女優アンジェリーナ・ジョリーさんが「遺伝性乳がん卵巣がん症候群」とされて両乳房と卵巣を予防切除したのが話題となった。いずれのコース・プランも、発症が疑われて治療が必要となった場合は、北大病院や近隣病院に引き継ぐ。PHCは今後、肺がんやアレルギイなどのコースも順次増やす考えだ。PHC部長の今野哲・北大大学院医学研究科教授は「多くの人々にPHCを利用して、もらい、より精度の高い病気の発症予測や治療につなげていきたい」と話す。